

～合理的配慮について一緒に考えてみませんか？～
令和6年度憲法週間市民のつどいを開催します

日本国憲法の基本理念のひとつは「基本的人権の尊重」です。5月1日から7日の憲法週間にちなみ、一人ひとりの人権が大切にされ、誰もが暮らしやすいまちとするため、普段の生活を振り返り、人権について考える機会として開催します。

1 日時

令和6年5月7日(火)13時～16時30分 ※受付開始 12時30分

2 場所

岡山コンベンションセンター 3階コンベンションホール(北区駅元町)

3 内容

- 講演 ながせ おさむ 長瀬 修さん(立命館大学 生存学研究所 上席研究員)の講演
「障害者と人権 ～合理的配慮について一緒に考えてみませんか？～」



- 映画「桜色の風が咲く」上映

※映画はバリアフリー字幕・バリアフリー日本語音声ガイド付き、講演は要約筆記・手話通訳ありのバリアフリーイベントです。

※入場無料、参加申し込みは不要。入場は当日受付先着順です。

4 その他

- ・定員750名、会場の定員を超えるときは入場をお断りする場合があります。
- ・詳細は別添チラシにてご確認ください。

【問い合わせ先】

岡山市 人権推進課 加藤・瀧川 直通086-803-1070 内線3920・3927

令和6年度 憲法週間 **市民のつどい** 5月1日～7日は憲法週間です。

入場無料 参加申込不要 (手話通訳・要約筆記・バリアフリー日本語字幕・バリアフリー日本語音声ガイドあり)

入場は当日受付先着順です。**会場の定員(750人)**を超えるときは入場をおことわりする場合があります。

※映画はバリアフリー上映(オープン形式)です。音楽や効果音などの作品中重要な意味を持つ音の情報を可能な限り文字で表記し、また、物語の進行や場面、人物の動きや表情などを、元々映像に入っている音を邪魔しない範囲で音声でガイドします。



映画上映

教師の夫、三人の息子とともに関西の町で暮らす令子。末っ子の智は幼少時に視力を失いながらも、家族の愛に包まれて天真爛漫に育つ。やがて令子の心配をよそに東京の盲学校で高校生活を謳歌。だが18歳のときに聴力も失う…。暗闇と無音の宇宙空間に放り出されたような孤独にある息子に立ち上がるきっかけを与えたのは、令子が彼との日常から見出した、新たなコミュニケーションの“手段”だった。勇気をもって困難を乗り越えていく母子の行く手には、希望に満ちた未来が広がっていく…。

9歳で失明、18歳で聴力を失いながらも世界ではじめて盲ろう者の大学教授となった東京大学先端科学技術研究センター教授 福島智の生い立ちを描いた実話

監督：松本准平

出演：小雪、田中偉登、吉沢悠、吉田美佳子、山崎竜太郎、札内幸太、井上肇、朝倉あき、リリー・フランキー

(2022年/日本/113分)

©THRONE / KARAVAN Pictures

講演

障害者と人権 ～合理的配慮について一緒に考えてみませんか？～

令和6年4月から、事業者による障害のある人への合理的配慮の提供が法律で義務化されました



講師 **長瀬 修さん** ながせ おさむ 立命館大学 生存学研究所 上席研究員

略歴 国連事務局障害者班専門職員、東京大学先端科学技術研究センター特任助教授、立命館大学生存学研究センター教授などを経て現職。ほか、日本障害フォーラム(JDF)障害者権利条約委員会副委員長、障害学会理事・国際委員長、インクルージョンインターナショナル(国際育成会連盟)事務総長などを務める。著書に『障害者権利条約の初回対日審査一総括所見の分析』共編著、(法律文化社 2024年)など多数。



会場の駐車場は有料です。

令和6年

日時

5月7日(火)

13時から16時30分まで
(12時30分より受付開始)

会場

岡山コンベンションセンター
3階コンベンションホール
(ママカリフォーラム)
岡山市北区駅元町14-1

プログラム(予定)

開会	13:00~13:10
講演	13:10~14:10
休憩	14:10~14:25
映画上映	14:25~16:20
閉会	16:20~16:30

日程・内容については、諸般の事情により変更となる場合があります。

主催/岡山市・岡山市教育委員会 後援/岡山県 協賛/岡山人権啓発活動地域ネットワーク協議会
お問い合わせ先/岡山市市民協働局市民協働部 人権推進課
☎086-803-1070(直通) FAX:086-225-1699
Eメール jinkensuishin@city.okayama.lg.jp

岡山市人権推進課
facebook

